

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月24日

計画の名称	小山町公共下水道整備事業											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	小山町											
計画の目標	施設の計画的な調査・点検の実施や改築を進めていくことにより、下水処理場及び管路の長寿命化を図り、安全・安心な汚水処理を確保する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	263	A	263	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	・処理場における改築更新率を21.6%(8設備)から67.5%(25設備)に増加させる。(更新対象全37設備) 更新率(%)=長寿命化(機械・電気)改築更新する施設数/改築更新必要施設数 更新率(%)=長寿命化(機械・電気)改築更新する施設数/改築更新必要施設数	59%	62%	67%
2	・ストックマネジメント計画策定率を0%から100%に増加させる。 ストックマネジメント計画策定率(%)=ストックマネジメント計画策定済み計画数/ストックマネジメント計画を策定すべき計画数 ストックマネジメント計画策定率(%)=ストックマネジメント計画策定済み計画数/ストックマネジメント計画を策定すべき計画数	0%	100%	100%
3	・マンホールポンプにおける改築更新率を0%から14.2%(2箇所)に増加させる。 更新率(%)=マンホールポンプ改築更新する箇所数/改築更新必要箇所数 更新率(%)=マンホールポンプ改築更新する箇所数/改築更新必要箇所数	0%	0%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小山町	直接	小山町	終末処理場	改築	須走浄化センター改築更新事業	実施設計、長寿命化対策、更新工事	小山町						93		策定済	
	A07-002	下水道	一般	小山町	直接	小山町	終末処理場	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定	小山町							10		-
	A07-003	下水道	一般	小山町	直接	小山町	終末処理場	改築	(2)須走浄化センター改築更新事業	長寿命化対策・更新工事	小山町							140		策定済
	A07-004	下水道	一般	小山町	直接	小山町	-	改築	須走処理区マンホールポンプ改築更新事業	更新工事	小山町							20		策定済
											小計							263		
											合計							263		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小山町都市基盤部内で事後評価を実施	令和5年1月
	公表の方法
	小山町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	施設の計画的な改築を行い、安心・安全な汚水処理を確保することができた。 処理場における更新率 21.6% (H29) 75.6% (R3末) 54.0%増
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
施設の計画的な調査・点検の実施や改築を進めていくことにより、下水処理場及び管路の長寿命化を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	67%
	最終実績値	75%
処理場における改築更新率を21.6%（8設備）から67.5%（25設備）に増加させる。（更新対象全37設備）		
計画的な改築工事を実施した結果、予定より多くの設備を改築できたため。		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
ストックマネジメント計画策定率を0%から100%に増加させる。		
3	最終目標値	14%
	最終実績値	0%
マンホールポンプにおける改築更新率を0%から14.2%（2箇所）に増加させる。		
マンホールポンプのオーバーホール（町単独事業）を実施したことにより、ポンプの通常動作を確保することができたため。（想定より状態が良く、改築不要となったため。）		